

31 首都圏経済・茨城

【第三種郵便物認可】



今月2日の昼時、農林水産技術会議事務局・筑波事務所(茨城県つくば市)1階で企業26社が展示会を開いた。実験用の機器やソフトウエア、特許事務、論文の翻訳など、主に研究関係の製品・サービスが並ぶ。ここは農林分野の研究機関が集まる団地内で、研究者に売り込むのが狙い。約300人が来場した。

展示会を開いたのは連携組織「つくばものづくりオーケストラ」。つくば市やつくば市商工会が支援している。農林研究団地のほか、宇宙航空研究開発機構、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構など、つくばに集積する様々な研究所に出稼する様々な研究所に出て行く。いわば「出前」展示会。今年は新たに高エネルギー加速器研究機構などに登録され、その都度変わるが、登録されている企業が多い。例えば中林会長が取締役の三王(つくば市)は150人から、多い

研究機構でも開催した。

研究所内で開けば昼食

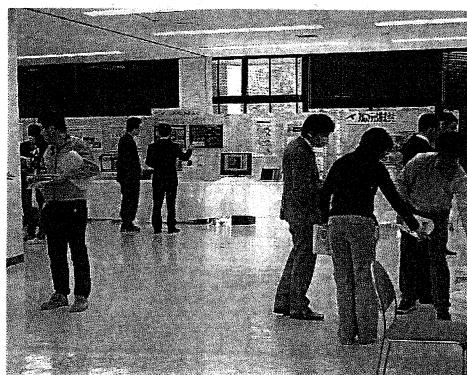
研究者に直接売り込む

のついでに気軽に寄つてもらえる。「研究者に直接アプローチし、ダイレクトに話ができる」(中林一會長)。出展者を随

る。つくばは研究学園都市時募る方式で参加企業はかけた。いわば「出前」展示会。今年は新たに高エネルギー加速器研究機構などに登録され、その都度変わるが、登録されている企業が多い。例えば中林会長が取締役の三王(つく

つくばものづくりオーケストラ

研究所で展示会開催



今月は農林研究団地で展示会を開催した

《組織概要》

- ▽登録企業 約50社
- ▽事業内容 つくば市に集積する研究機関などに出向いて技術展示会を開催
- ▽問い合わせ 先づくば市経済部産業振興課、つくば市商工会



中林一會長

社、ソフトウエア会社はもちろん、研究所向けの人材派遣、論文用の印刷、カタログなど写真撮影、景気低迷の一方で研究開発などの会社まで幅広い。「地元の企業なので、小回りがきき、手直しや修理にすぐ行ける」(大野前会長)のがセールスポイントだ。もともとはつくば市が様々な分野で新しい取り組みをするために作ったワーキンググループの1つで、2004年6月に発足。ワーキンググループの1名はオートクレーブといふ機械のメーカーで、燃料電池の材料試験装置などを一カ所で、宇宙飛行士の訓練施設やクリーンルーム、実験装置などに使われる。こうした実験機器のメモリ。展示会の開催は5年目。研究所のほか、学会

茨城

つくば市
029-912-521-032853